



世界の平和と人類の助かりの光に

教会だより 『しのはら』



宗教教法人金光教篠原教会 〒520-2301 野州市小南 1842

☎077 (587) 1624 📠077 (587) 1867 [Eメール shinohara-ko373@hotmail.co.jp](mailto:shinohara-ko373@hotmail.co.jp)

あっちを向いて、こっちを向いたら早くも夏至。月日の流れの速さについていくのが難しくなってきた。草花を見ても、こないだ咲いていたのにまた咲いてるやん？と、半年前のことが、つい先ほどのことのように…。

世界にはそれとは逆に、いつ戦争が終わるのかと長い、長～い時を感じている人々がいる。早く穏やかな日々を彼らにもと祈る。



7月27日(月)

要注意!!

第 119 回布教記念祭 午前 9 時

祭典後: 10:40～ 地域にお返しありがとう祭り

しのこんまつり(笑顔あふれる、ひとときを)



**人間はどうして 生まれ、
どうして生きているかということ
知らねばなりませんなあ**

(金光教教典理解Ⅱ山本定次郎の伝え)

者は天地の神様の子である。天地の神様のおかげは世界にいっぱい満ちている。そのおかげがなければ、空気がないのと同じで、一時も人は生きてはおれない。

子ができるのが氏子で分かるであろうか。子をこしらえるというが、こしらえるこしらえないということが氏子でできるのか。人間ができてくるもとは、水の上のあわのようなものである。月が重なり、満十月すれば生まれてくる。生まれた時息子、娘と言う。それは、だれが名付けたのであろうか？



天地の神様に型どって名を付けているのである。鋳物師屋(いもじや)に行ってみよ。釜をこしらえるのには釜、茶釜を造るには茶釜の型を造っておかなければ、できはしないだろう。

この言葉は、教祖様の所へ始めて参った山本定次郎青年に、突如、話しかけられた言葉である。また 24 歳の時初めて金光大神の広前に参拝した佐藤光治郎には次のようなことを話された。

世界中、
天が下の

妊娠とともに、月のもの(月経)が止まる。その水気を受けて子は養われてくるのである。子どもが腹の中において、どこから養われるているのだろうか？目口がついていても、水の中で口を開けていたのでは死んでしまう。へそから養いを受け、骨ができ、筋ができたのである。そういったことはだれがするのだろうか？天地の神様のおあてがいでできたのである。



袋を縫って、中が空っぽでは何もならない。その袋の中へ物を入れるように、魂をお与えくださり、体へ魂を下げてくださっているから、この世で生きているのである。神様の有り難い事を知らなければならない。みな天地の神様の氏子である。

人が死ねば、その体と、魂がほどけるのである。死んで、魂が離れば、体は土に帰ってしまうのである





霊神様に心を向けましょう

5日初代先生・二代先生と共に、7月祥月命日をお迎えになる霊神様方の月例霊祭をお仕えます。7月祥月命日をお迎えのおみたま様は下記の通りです。お繰り合わせを頂きご参拝下さい



おみたまさま ありがとう

木田佐五郎老叟	奥田まつ刀目	馬場勝治郎大人	飯島ひさ媼	富田久蔵老叟	山田柳太郎老翁
布施玄之助郎男	釈教善之霊	島村きよ刀自	苗村政雄郎子	馬場久一老叟	山本庄次郎子
池田奎兵衛之霊	藤井忍堂老叟	布施智恵乙女	西岡吉二比古	今藤勘助老叟	奥野はや刀自
松並きの刀自	高畑きぬ刀自	菱田とめ媼女、	苗村芳江幼女	青木はる珍玉乙女	塚田源三郎老叟
谷その刀自	岡田なみ刀自	本城一栄刀自	山中みき刀自	鎌田君江朗女	菱田勇治郎大人
田中ねね刀自	菱田善吉老叟	鈴木菅子大刀自	宇野昭治老叟	西岡はる刀自	田中さえ刀自
北脇行雄彦	江殿はな刀自	辻沢啓次之霊	木村カネ刀自	杉江岳人大郎子	北村幸子老媼

日	曜	7月の行事
1	水	おついたちまいり
5	日	月例霊祭(14:00)
8	水	本部月礼参拝
10	金	金光大神月例祭 (14:00)
12	日	大津親教会月例霊祭参拝(大津)
13	月	福祉バザー準備 女性部
21	月	天地金乃神月例祭(14:00)
27	月	第119回布教記念祭(9:00) しのこんまつり (10:40)
教会長私用外出日 11(土)13:30~悠紀の里 28(火)にっこり作業所 (9:30~15:30)		

今月のみ教え

みな、忙しいからなかなかお参りができませんと言う。無理に忙しいときに参れというのではないが、おかげを受けていれば暇な日という日があるものか。

今日は雨が降ったからお参りしよう、今日は休みだからおかげを受けようと、暇をつくって参り、おかげを受けるがよい。

(金光教教典抄―天地は語る―146)

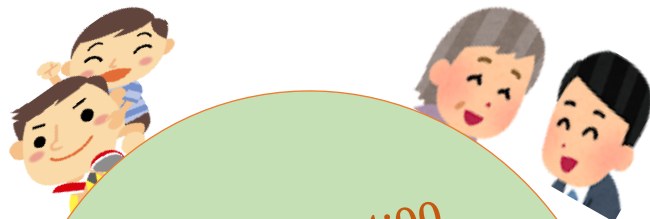
七月は夏季信行月間

暇な時、教会へ参り、話を聞き
日々の暮らしの中で

楽しく信心の稽古をしましょう！

金光様と共に、み教えと共に、人様と共に
喜びを見つけ、人を祈り、人の助かる生活を！

(篠原教会信徒会)



8月2日(土) 14:00

月例祭々典後

第2回「お話を聴く会」

四日市教会在籍教師
松田有祈子先生

どんな話かな～??
楽しみだ～!

7/8 (水) 本部月例(礼)参拝時刻



加古川行き) ひかり 737 (広島行き) 山陽線 (金光行き)

篠原 → 京都 → 岡山 → 金光

7:01 発 7:42 着 8:01 発 9:13 着 9:30 発 10:03 着

